

白潟本町通り

整備の方向性について



中心市街地エリアビジョン (市民と共有する「L字ライン」の未来地図)

江戸期の歴史・文化を今に伝える「松江城周辺ゾーン」

- ▶統一感のある歴史的街並みの保存と形成
- ▶江戸期文化の発信と体験
- ▶大手前駐車場の交流広場化

全体コンセプト ~車中心から人中心のまちなかへ~

- ①豊かな日常の中に、松江ならではの歴史・文化が薫るまちなかへ
- ②歴史・文化・水辺を活かした、居心地が良く、年中歩きたくなるまちなかへ
- ③若い世代が活躍する松江のまちなかへ

「L字ライン」の骨格

- ①歴史・文化・水辺を活かす6つの交流ゾーン
- ②人々の交流を生む拠点
- ③各交流拠点を結ぶ、ストーリー性のあるまち歩きルートと多様な移動手段

大手前

近代建築群を活かした、新たな挑戦が生まれる「殿町周辺ゾーン」

- ▶近代建築物を巡るまち歩きエリア
- ▶安心して歩ける歩行空間の創出
- ▶空き地の有効活用の推進
- ▶魅力的な体験ができる目的地の創出

● 交流拠点

▲ まち歩き動線

人が集い、湖畔を楽しむ「湖畔ゾーン」

- ▶新庁舎と一体となった湖畔の整備
- ▶日常的な水辺空間の利活用の推進
- ▶松江しんじ湖温泉駅から殿町方面へ安全に歩くことができる歩道の整備
- ▶健康づくりの活動拠点

松江しんじ湖温泉駅周辺湖畔

日常の営みが水面に映える「かわ・まち回遊ゾーン」

- ▶水辺に親しむ空間づくり
- ▶対岸から美しく映える街並みの形成
- ▶日常的な水辺空間の利活用
- ▶大橋川の水面を活用したアクティビティと水上交通の創出

白潟本町通り

歴史・文化を活かした、新たな挑戦が生まれる「白潟周辺ゾーン」

- ▶遊休不動産を活用した多様なコンテンツの集積と世代間交流の促進
- ▶安心して歩ける歩行空間の創出
- ▶お茶や和菓子、蔵やお寺に親しむ機会の創出

松江駅前

多くの来訪者が憩い集う松江の玄関「松江駅周辺ゾーン」

- ▶南北駅前広場の機能の再配置
- ▶駅から歩きたくなる空間・店舗の繋がり創出
- ▶伊勢宮町において、夜間の歩行者専用道路化
- ▶市民が集う松江の食の台所

白潟本町通りの計画(素案)

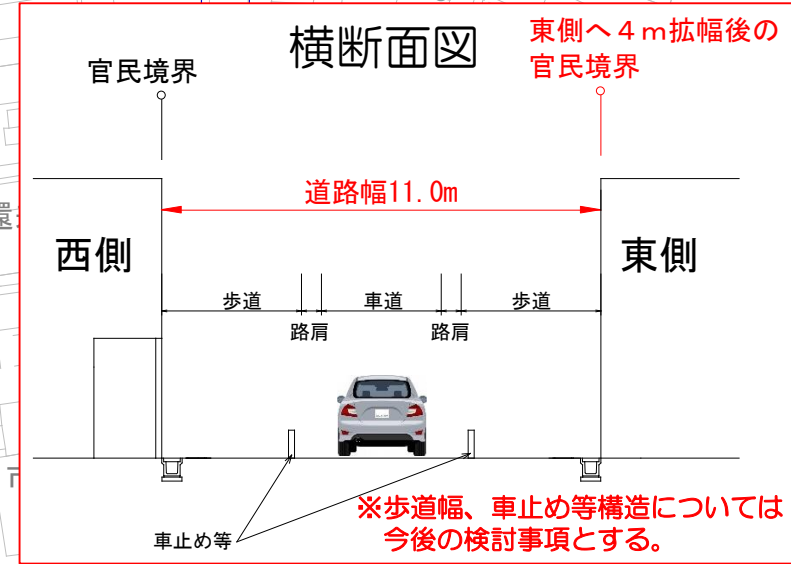
白潟本町通りの計画(素案)

- 道路幅:11m(東側へ4m拡幅)
- 1車線(北進一方通行)
- 歩道幅をしっかり確保する

道路整備の在り方について、改めて地域の皆様と一緒に考えました。

歩行者空間が広がると何かできるかも

1車線・北進一方通行・道路幅11m
延長約200m



白潟本町通りの住民・地権者・沿線商店【回答者数27件】

(意見交換会:令和3年3月4日・7日、7月15日・18日)

問:1車線の一方通行と2車線の対面通行のどちらがよいですか?

1車線の北進一方通行が良い (59%)

2車線対面通行が良い (19%)

どちらでもよい(11%)

無回答 (11%)

問:歩道の多目的利用(飲食・休憩スペース)について

あったほうが良い (48%)

なくてもよい (19%)

どちらでもよい (22%)

無回答 (11%)

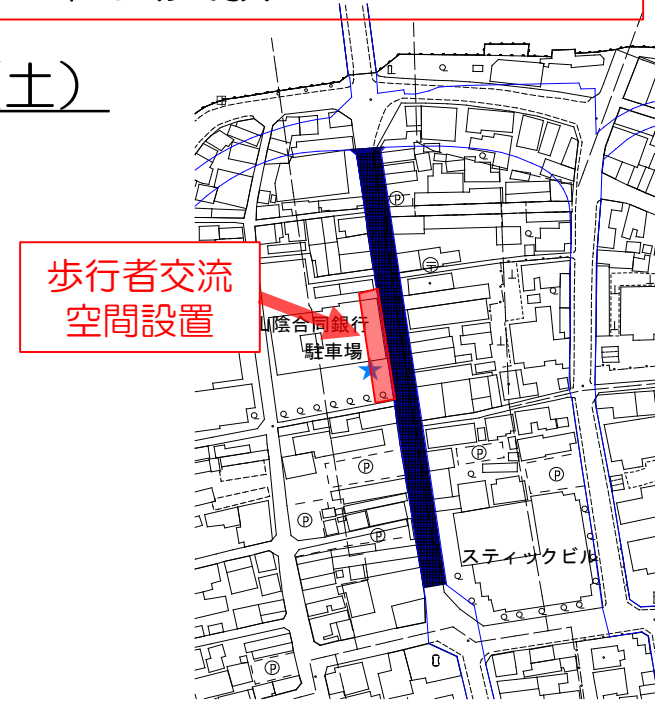
白潟本町通り社会実験

歩道を広く確保し、キッチンカーやアート空間の演出による交流空間を創出することで、まちの賑わい創出につながる、との仮説を立てて社会実験 松江大橋

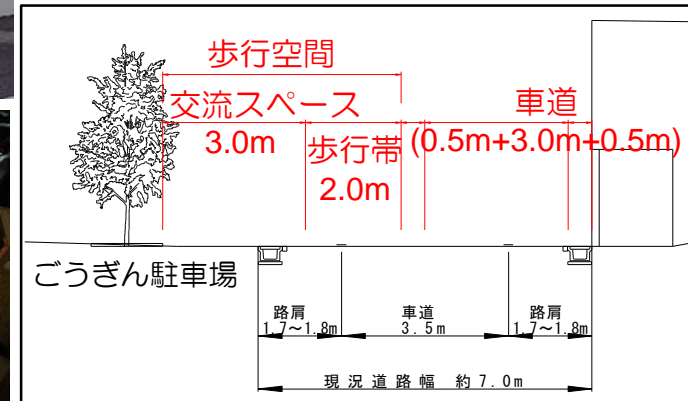
【期間】 令和3年10月18日（月）～11月13日（土）

【内容】 ①現行3.5mの車道幅を3mに狭めた（終日）

②5mの歩行空間（ごうぎん駐車場付近）に、ベンチのほか交流スペースを設置。期間中の金・土曜日はキッチンカーによる飲食提供、アート空間演出



社会実験の状況



白潟本町通り社会実験による意識調査結果

【白潟地区住民・沿線事業所アンケート】(回答者数:503名)

(アンケート調査期間:R3.12/20~R4.1/17)

問: 拡幅後も車道を北進一方通行とし、歩道を広く設け、歩きやすい白潟本町通りとする ことについて、どう思いますか?

白潟地区住民(白潟本町を除く)(回答者数:466名)

良いと思う (73%)

(8%)

わからない・
無回答 (19%)

沿線事業所(ごうぎん・関連会社ほか23事業所)(回答者数:37名)

※Webアンケートによる

違う計画のほうがよい

良いと思う (76%)

(11%)

わからない・
無回答 (13%)

【結果考察】

- ◆終日一方通行による不便は生じなかった。◆北進一方通行で歩道を広く設ける案については、賛成意見が多い。
- ◆白潟本町通りのバスの通行については、白潟本町通りの沿線では約7割、その他の周辺住民でも約5割の皆様が今後も通行することを望まれている。

【来場者ヒアリング】 (回答者数:329名)

(ヒアリング調査日:R3.10/22・23・29・30,11/5・6・12・13)

問: 車道を1車線とし、歩道を広くした社会実験をどう思われますか?

全くよくない・よくない (1%)

とても良い・良い (83%)

わからない・
無回答 (16%)

【自由意見】・活気が戻ってほしい・今後も続けてほしい・自転車の通行や子供の飛び出し対策が必要・駐車スペースがほしい・PR不足 など

【地区住民・沿線事業所・来場者の意識調査結果から得られた課題】



- ◆賑わいのある交流空間を演出するためには、歩行空間を広く取る必要があるが、来場者及び地区住民の皆様からはバスの運行を求める意見が多くあることから、バスの運行と歩行者の安全確保を両立するための検討が必要

白潟本町通り 整備の方向性

白潟本町通りの計画(素案)

- 道路幅: 11m(東側へ4m拡幅)
- 1車線(北進一方通行)
- 歩道幅をしっかり確保する

道路の使い方(イメージ)

片側の歩道を広くして、歩行空間を楽しむ道路



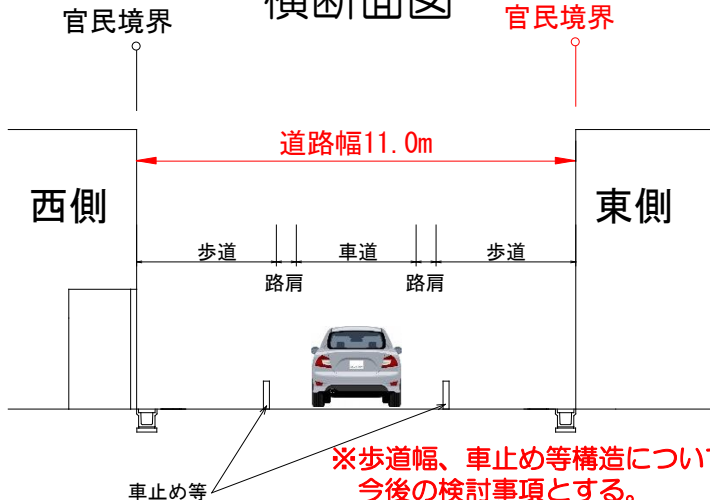
【出典】WEB防災情報新聞:国交省のポストコロナ-「2040年、道路の景色が変わる」

【今後の取組み予定】

道路幅を拡げた後も現在と同じように北進一方通行の1車線道路としたうえで、歩道幅を広くとり、歩きやすい環境を整え、お店などが連なる、賑わいのある通りとすることを基本に、引き続き、社会実験などを通して課題を検証しながら、当該地域・市民の皆様から広くご意見を伺い、関係機関と一緒に実現に向け検討を進める。

横断面図

東側へ4m拡幅後の官民境界



白潟本町

1車線・北進一方通行・道路幅11m
延長約200m

八軒屋町

市営白潟駅前